MWS Cup 2020 事前課題

岡山大学 セキュリティ讃歌市岡, 伊藤, 白石, 大谷, 川島, 芝

目的•動機(1/2)

●新しい脆弱性やPoCコードが公表されたとき、 実際にサーバを立てて試したい

- ●既存のハニーポット

第三者からの 攻撃が必要 脆弱性の検証に 時間がかかる



目的•動機(2/2)

- ◆本成果物では、PoCコードや脆弱性を試すことのできる「やられ環境」を気軽に作成
 - ●実際に受けた攻撃や脆弱性に迅速に対応可能
- - →サーバのバージョンを自由に変更したい
 - ▶実環境に近いサーバを構築したい
 - ●攻撃内容を知ることのできるログを見たい
 - ●新しいサーバを短時間で起動したい



▶ これらに対応

DC-p0t

- <u>▶</u>Docker Container honeypot
- ●気軽に使用できる「やられ環境」(高対話型ハ ニーポット)を作成するツール 脆弱性の検証



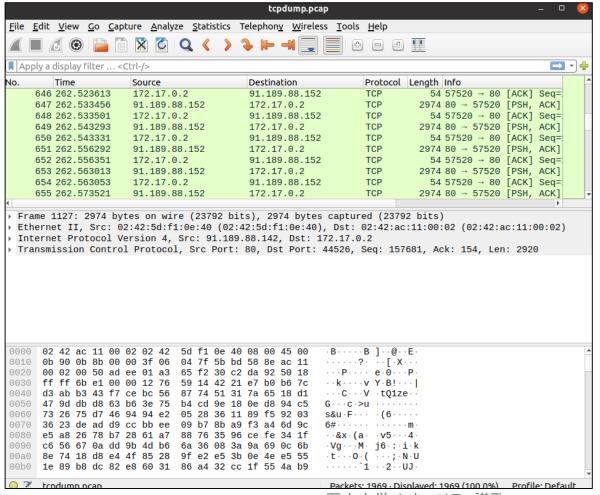
主な機能

- ●サーバ構築
 - **►**BIND9, Apache2, Apache2+php
 - →様々なバージョンのサーバを構築可能
- ●ログの確認
 - ◆tcpdump, プロセス生成, 追加または修正された
 ファイル、標準(エラー)出力メッセージ



ログの確認(1/4)

●tcpdumpによる通信のキャプチャ

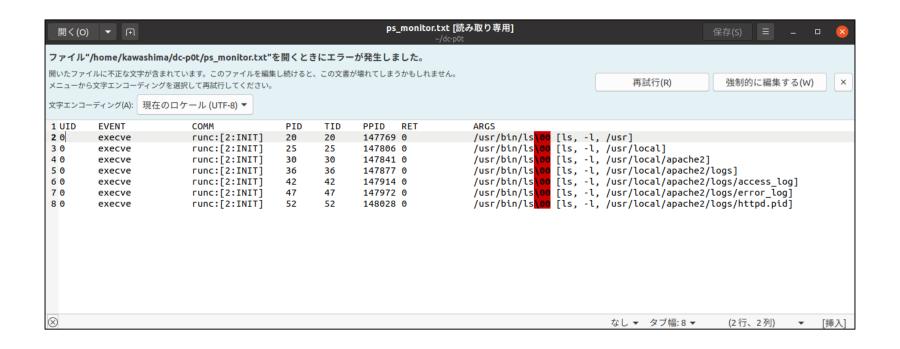


CVE-2011-3192を 利用したexploit code を用いたDoS攻撃の 通信キャプチャ



ログの確認(2/4)

●コンテナで起動したプロセスのPIDとプロセス名



ログの確認(3/4)

●コンテナ起動中に追加・修正されたファイルの 一覧

```
開く(O) ▼ ① docker_diff_result.txt [読み取り専用] 保存(S) = - □ ※

1 C /usr
2 C /usr/local
3 C /usr/local/apache2
4 C /usr/local/apache2/logs
5 A /usr/local/apache2/logs/httpd.pid
6 A /usr/local/apache2/logs/access_log
7 A /usr/local/apache2/logs/error_log
```

●追加・修正されたファイルの内容





ログの確認(4/4)

●標準出力および標準エラー出力





メンバーの担当箇所

- ●市岡・・・Docker上のApache, BINDの環境構築
- ●伊藤・・・ログ取得モジュールの作成
- ●白石・・・攻撃実験の実施・性能評価
- ●大谷・・・関連研究の調査
- ●芝・・・Docker上のphpの環境構築, UIの実装

継続性と貢献

- **●継続性**
 - ●対応する「やられ環境」の拡張
 - ●WordPressの導入を検討中
 - ●ソースコードの公開
- **▶**<u>貢献</u>
 - ●実際に攻撃を手軽に試すことが可能
 - ●プロセスログの取得などを簡単にできる

まとめ

●気軽に使用できる「やられ環境」(高対話型ハニーポット)を作成するツール「DC-p0t」

- ●機能は大きく2つ
 - ●サーバ構築
 - ●ログの確認
- ●実際に受けた攻撃や脆弱性に迅速に対応可能



●ご清聴ありがとうございました

